

様式2 環境基本計画進捗状況点検調書【重点プラン】

令和3年度		年間	環境基本計画進捗状況点検調書（重点プラン・平成29～36年度）										
●重点プラン 1 水辺環境の保全と緑の保全・創出（生き物にやさしい環境づくり）													
●目標		～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ □夏の夜、水辺にはたくさんのホタルが飛び交っています。 □水田には、これまで見られなかった小魚や昆虫が見られるようになりました。 □道路には、あじさいなどの緑が植栽され、開成町らしい美しい景観となりました。											
～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ 関連指標進捗状況			担当課	過去の状況						令和3年度 年間			
				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	整備状況		
関連指標	□単独浄化槽（事業所含む）件数 1,202 件		環境上下水道課	1193	1173	1037	統計なし				統計なし	件	
	□し尿処理件数 79 件		環境上下水道課	86	78	76	71				67	件	
	□ホタル生息地箇所数 8 箇所		環境上下水道課	6	6	6	6				6	箇所	
プロジェクトの取組状況			評価 A：100% B：50～100%未満 C：0～50%未満 D：未実施										
プロジェクト名	取組内容		担当課	過去評価					令和3年度			評価	今後の課題
				29	30	1	2	3	4	5	取組状況		
プロジェクト1 河川・水路の適切な 維持管理の推進	○町は、水辺環境の保全を町民・事業者と協働で実施します。 ☆「かいせいクリーンデー」などの環境美化活動に参加します。 ☆河川・水路への不法投棄ゼロを目指し、町民・事業者・町の協働によりごみ拾いを行うなど、不法投棄防止に向けた啓発事業を行います。		環境上下水道課	A	A	A	D					D	○既存イベントの改善、ニーズや必要性を把握し、新規イベント等の検討も行う。 ○事業者の地域美化活動への参画を促進する。
プロジェクト2 生き物の棲める水路 づくり	○町は、河川・水路の改修にあたって、生態系に配慮した整備に取組みます。		街づくり推進課	D	C	C	C					C	○周辺の環境に合わせた護岸構造を検討する中で、引き続き資材に玉石などの自然物を利用するよう努める。
	☆町民はホタルの乱獲防止の巡回指導など、ホタル生息地の保全・拡大に向けた取組みを継続的に実施します。		環境上下水道課	A	A	A	C					C	○生息地保存に向けた研究会への支援を継続する。 ○保全に対する近隣住民の理解や協力を得る。
プロジェクト3 休耕田の活用や生き 物が棲める水田づく り	○町は、農地荒廃防止のため、農地の利用権設定や農作業の受委託の拡充を図ります。 ○沿道緑化、自然豊かな公園整備に努めます。		産業振興課	A	A	A	A					A	○農業の担い手の開拓や6次産業化により北部地域の活性化を推進することにより、今後も継続して農地の保全に努める。
	☆農家は、環境保全型農業に取り組むよう努めます。 ☆町民や事業者は所有地の緑化に努めます。 ☆町民は、近くの公園や街路樹などの維持管理活動に参加します。		街づくり推進課	B	B	B	B					A	○ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録をいただいたボランティアの活動内容を把握し、必要な支援を行う。

○は町が主体、☆は主に町民や事業者が主体となって行う取組み

様式2 環境基本計画進捗状況点検調書【重点プラン】

令和3年度	年間	環境基本計画進捗状況点検調書（重点プラン・平成29～36年度）										
●重点プラン 2 ごみの減量化・資源化（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの推進）												
●目標	～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ □家庭や事業所でのごみの減量化・資源化が推進されています。 □農家・菜園等で生ごみ堆肥を利用し農産物の生産をしています。											
～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ 関連指標進捗状況		担当課	過去の状況							令和3年度 年間		
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	整備状況		
関連指標	□家庭系ごみの住民1人、1日あたり排出量 672g	環境上下水道課	687	682	672	678	654			654	g	
	□ごみの資源化率 40%以上	環境上下水道課	31	31	31	31	31			31	%	
プロジェクトの取組状況		評価 A：100% B：50～100%未満 C：0～50%未満 D：未実施										
プロジェクト名	取組内容	担当課	過去評価							令和3年度 年間	評価	今後の課題
			29	30	1	2	3	4	5	取組状況		
プロジェクト1 町全体で生ごみの分別収集と資源化の推進	○町は、ごみの減量化・資源化に向け、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの取組みを推進するため、町民や事業者への啓発を実施します。 ☆町民は、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの取組みに協力します。 ☆町民は、生ごみ処理器を活用したごみ減量化に努めます。	環境上下水道課	B	A	A	C				○広報・ホームページ・ごみ置場での掲示により啓発に努めた。 ○リサイクルについては、役場庁舎及び町民センターに「譲ります、譲ってくださいコーナー」を設置し、希望者間のマッチングを行った。 ○食ロス対策として、「ムダなものを作らない、売らない、買わない」という川上施策を行うため、大規模小売店1店舗と意見交換会を行う予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。	A	○コロナ禍における生活様式の変化で激増したごみ量を減らすための住民の行動変容もしくは新たな分別項目の設定 ○4Rの推進と合わせ、食品ロスを含むごみを生まないように、不要なものを買わないよう啓発する必要がある。
プロジェクト2 生ごみ堆肥化の活用	○町は、公共施設などに生ごみ堆肥を積極的に活用するとともに、農家や家庭菜園などへの活用を促します。 ☆町民は、農場や家庭菜園等で生ごみ堆肥を積極的に活用し特産品などを生産します。	産業振興課	A	A	A	A				○ふれあい農園利用者に生ごみ堆肥の活用ついて周知した。	A	○継続して周知活動を行う。
		環境上下水道課	A	A	A	B				○生ごみの減量化を促進するためキエーロ購入に対する助成を実施した。助成制度は、行政改革の観点から廃止が決定しているため、その前段会として住民負担額を見直した。助成件数は3件（前年度6件） ○剪定枝等の処理費を減免し、グリーンリサイクルセンターの活用を促した。	B	○キエーロの補助事業は令和2年度に自己負担額を値上げし、令和7年度に補助事業を廃止予定。その後は斡旋等を行う。 ○グリーンリサイクルセンターが老朽化していることから今後の在り方を検討する必要がある。

○は町が主体、☆は主に町民や事業者が主体となって行う取組み

様式2 環境基本計画進捗状況点検調査【重点プラン】

令和3年度	年間	環境基本計画進捗状況点検調査（重点プラン・平成29～36年度）										
●重点プラン 3 地球温暖化対策の推進（地球にやさしい暮らしの実現）												
●目標	～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ ☐ 協働による自転車のまちづくりを推進しています。 ☐ 太陽光発電システムを導入する住宅軒数が増えています。 ☐ 全ての行政施設で CO2 排出量が削減されています。 ☐ 地球温暖化防止に積極的に取組む町民・事業者が増えています。 ☐ ゼロエネルギーハウス（ZEH）を導入する住宅件数が増えています。 ☐ 再生可能エネルギーを導入した公共施設が増えています。											
～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ 関連指標進捗状況		担当課	過去の状況							令和3年度 年間		
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	整備状況		
関連指標	☐ ゼロエネルギーハウス（ZEH）設置補助件数（累計）27件	環境上下水道課 （旧：環境防災課 環境）	2	5	3	8				11	件	
	☐ 地球温暖化防止活動推進事業所数 19 事業所	環境上下水道課 （旧：環境防災課 環境）	10	10	10	10				10	事業所	
	☐ 自転車の安全な乗り方教室の参加者数 196 人	防災安全課 （旧：環境防災課 防災）	196	197	201	0				389	人	
プロジェクトの取組状況		評価 A：100% B：50～100%未満 C：0～50%未満 D：未実施										
プロジェクト名	取組内容	担当課	過去の評価							令和3年度 年間	評価	今後の課題
			29	30	1	2	3	4	5	取組状況		
プロジェクト1 「自転車のまちづくり」の推進	☐ 足柄上商工会と連携したレンタサイクルの取組を推進します。 ☐ 自転車を利用しやすい環境づくりを進めるため、子どもの自転車の安全な乗り方教室を開催します。 ☐ 自転車・歩行キャンペーンを通じ、近距離の自転車利用を呼びかけます。 ☐ 自転車のまちづくりの取組を町内外に発信します。 ☐ 開成駅周辺の自転車利用者の増加に対応するため、駐輪場の確保に努めます。 ☆町民や事業者は、身近な移動などに自転車を積極的に利用します。	環境上下水道課 ※R元までは企画政策課	A	A	A	D				☐ これまで県と県西地域2市8町が連携して進める「県西地域活性化プロジェクト」の一環として、県が実施する「コミュニティサイクル」及び「自転車の駅」の普及に向けた広報に取り組んできたが、事業が廃止されてしまった。	D	☐ 「自転車のまち開成」の町内外への発信や更なる自転車の普及に向けて、どのような取組が必要か再検討する必要がある。
		防災安全課	A	B	A	D				☐ 町立小学校4年生とコロナ禍のため令和2年度に実施できなかった当時4年生（現在5年生）を対象とした自転車運転免許講習を実施。※子供自転車大会（地区、県、全国）はコロナ禍のため中止	B	☐ 交通ルールやマナーの講習を小学生だけでなく、啓発活動によって成人に対しても交通安全教育を実施していく必要がある。
プロジェクト2 家庭・事業所での地球温暖化防止運動の推進	☐ 町は、情報提供等を通じて、町民・事業者の取組を推進します。 ☆町民は、省エネ家計簿を活用したり、自動車利用の削減や自宅の緑化に努めるなど、自らできる地球温暖化防止活動を実施します。 ☆町民・事業者は、「COOL CHOICE」、「マイエコ10宣言」に参加することで、温暖化防止に貢献します。 ☆町民・事業者は家庭や事業所での新エネルギー（太陽光発電等）の導入を検討します。	環境上下水道課	A	A	A	A				☐ 省エネ家計簿のPRを行った。 ☐ ゴーヤの苗を無料配布し、グリーンカーテンの設置促進した。 ☐ ゼロカーボンシティ創成補助制度を創設。EVやV2Lへの補助を開始し、年度途中からは宅配ボックスへの補助も開始した。町HPでの周知を行った。	A	☐ 環境家計簿については、実践者の取り組み状況が分からないため、効果測定ができない。 ☐ ゼロエネルギーハウス（ZEH）が一般認知されてきたが、義務化の先送りや失速気味であるため機運の高揚が必要。
プロジェクト3 地球温暖化防止実行計画の推進	☐ 町は、行政施設の地球温暖化防止実行計画（平成24年3月）を見直し、新たな目標を設定するとともに、目標の達成に向けて各施策を実施します。	環境上下水道課	A	A	A	A				☐ 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理を行った。	A	☐ 計画に沿って、CO2の削減に取り組む。

○は町が主体、☆は主に町民や事業者が主体となっていく取組み

様式2 環境基本計画進捗状況点検調書【重点プラン】

令和3年度	年間	環境基本計画進捗状況点検調書（重点プラン・平成29～36年度）										
●重点プラン 4 環境学習の推進（みんなが学び、行動できるしくみづくり）												
●目標	～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ ☐ 環境学習会、環境フェア、環境講演会等の学習参加者が増えています。 ☐ 省エネ家計簿、町民環境調査、マイバッグ、エコドライブ、近距離自転車利用、アジェンダ登録等のエコ実践行動者が増えています。 ☐ 町民が取組んだ結果を掲載したり、発表したりする場、頻度が増えています。 ☐ 町民が主体的、継続的に学習、調査の企画・実行できる仕組み、サポート体制ができています。 ☐ 環境調査や環境学習会の企画・実行が町から町民主体に移っています。											
～みんなで目指す平成36年度（令和6年度）の姿～ 関連指標進捗状況		担当課	過去の状況							令和3年度 年間		
			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	整備状況		
関連指標	☐ 環境学習会等の開催回数 5回	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	3	3	2	0				0	回	
	☐ 環境学習会等の参加者数 500人	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	361	661	40	0				0	人	
	☐ 環境美化推進協議会委員の研修・交流回数 3回/年	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	3	3	3	0				1	回	
プロジェクトの取組状況		評価 A：100% B：50～100%未満 C：0～50%未満 D：未実施										
プロジェクト名	取組内容	担当課	過去評価							令和3年度 年間	評価	今後の課題
			29	30	1	2	3	4	5	取組状況		
プロジェクト1 世代別関心テーマの 学習実践	○世代別学習ニーズの把握と学習方法の企画・実施に努めます。	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	B	C	C	D				○親子で参加できる機会として「ecoひろば」と生ごみ処理器キエーロの実演会を文化祭の中で実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送った。 ○ジュニアサマースクールで環境学習の場（併せてあじさい公園の小水力発電施設の説明）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。 ○ホテルの観察会は、コロナ禍でホテルの里づくり研究会が活動休止となり、開催を見送った。	D	○世代別の様々なニーズや必要性等については、町民からの意見が少ないことから、ニーズや必要性を考慮し、今後の対応について検討していく。
プロジェクト2 自治会、環境美化推進協議会委員などの交流	○自治会・環境美化推進協議会委員・地球温暖化防止活動推進員などが相互に交流できる機会・場所（コミュニティー）を創出します。 ☆自治会、環境美化推進協議会委員などは、交流会などに積極的に参加し情報交換などを行います。	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	D	D	D	D				○機会・場所の創出には至らなかった。	D	○今後整備予定の「町民活動サポートセンター」での事業展開を検討する。
プロジェクト3 環境調査・環境学習会の実施	○町民環境調査を町民などとの協働により、継続的に実施します。 ○ごみ分別・リサイクル、エネルギー・省エネ、生活排水処理などの様々なテーマで環境学習会を町民などとの協働により継続的に実施し、環境に関する知識や意識の向上を図ります。 ○環境美化推進協議会委員などへの研修会を定期的に実施していきます。	環境上下水道課 (旧：環境防災課 環境)	B	A	B	D				○町民環境調査は実施予定なし。 ○ジュニアサマースクールで環境学習の場（併せてあじさい公園の小水力発電施設の説明）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。 ○環境美化推進協議会委員の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送られた。	D	○環境学習の提供の場を他のイベントに併せて実施していく必要がある（単独では集客力が弱くて難しい）。

○は町が主体、☆は主に町民や事業者が主体となって行う取組み